



菊地 哲治さん(84) 邦子さん(81) 東和町・錦織5区 1958(昭和33)年2月入籍

楽しいことが同じだからけんかしない

★二人のなれ初めは 【哲治】お見合いだったね。初めて会ったときは恥ずがしくてしゃべれねがった。 【邦子】あんまり話さないが、こっちから話し掛けだの。 ★結婚当時の思い出は 【哲治】初めて会ってから1年くらい手紙を交換して、プロポーズも手紙だった。 【邦子】農作業が予想以上に大変で、実家に帰ろうとしたこともあったけど止められたの。止められなかったら出で行ってだね(笑)。 ★お互いの性格は 【哲治】働き者。何か頼むとすぐによつから助かんだ。 【邦子】とにかく真面目。誠実な人だと思ふよ。 ★夫婦円満のコツは 【哲治】けんかした記憶はないね。手頃な温泉宿を探して、よく連れで行くんだ。 【邦子】二人とも旅行とゲートボールが好きなんだけど、楽しいと思うことが同じだからけんかしないのかもね。 ★最近楽しかったことは 【哲治】ゲートボールだね。仲間と一緒にするのが好きなの。 【邦子】10年以上前だけど、お父さんの運転で和歌山県の高野山のお寺に泊まったの。厳かな雰囲気を感じて忘れられない思い出になったね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとの思い」

ふるさとを離れて53年になります。53年前の昭和30年代は、夏の最高気温が32度から33度、冬は雪が20センチから30センチ積もっていました。 三笠宮妃殿下に、落成直後の母子センターにご来訪いただいた際は、小中学生や大勢の町の人たちが日の丸の旗を振ってお迎えしました。また、浪曲師の村田英雄さんが、中学校の体育館で浪曲を披露したのも思い出されます。 ふるさとへの思いは二つあります。平成9年に24年間勤めた新宿のデパートを退職したとき、お盆に帰省しました。お盆に帰るときに楽しみにしていたことがありません。それは、亡くなった先祖の霊が、迷わず家族の元に帰れるように



佐竹 満雄さん(71) 在京豊里会事務局員 豊里町(下町)出身

たく「迎え火」、お盆に家族と一緒に過ごした霊を、現世から彼岸に送るときにたく「送り火」です。とても楽しみにしていたのですが、車が通るたびに灰が舞い上がるのでやめたこと聞きました。町の発展に伴い消えてゆくのはやむを得ないですが、寂しく感じます。 もう一つは、昭和39年の東京オリンピックです。当時は古川市(現・大崎市)の高校に通っており、1年生でした。聖火ランナーが古川市を通るときは、市内の幼稚園児、小中高生や大勢の市民が国道4号線の沿道に並び、拍手と歓声でランナーを迎えました。伴走者には、市内の高校生も選ばれました。

10月10日の東京オリンピック開会式は土曜日の午後でした。小牛田駅に設置されていたカラーテレビの前は、大勢の人でいっぱいになっていました。選手団の入場の後、聖火台へ点火され、澄み切った青空に、航空自衛隊のブルーインパルスがカラースマークで五輪のマークを描いたのを、今も鮮明に覚えています。 ふるさとで見た東京オリンピックを思い出しながら、2020年のオリンピックも楽しみにしています。

おらほの道の駅

道の駅みなみかた 「もっこりの里」



「新鮮な野菜、農産加工品、ふわっとしたやわらかさが特徴のぶどうパン、レストランの総菜やご飯など、おいしいものがたくさんあります」と話すスタッフの皆さん。



年間を通じて数多くの野菜を販売。冬は新鮮な葉物野菜が並びます。

今月は、道の駅みなみかた「もっこりの里」の中津川英雄駅長にお話を伺いました。 Q おすすめ商品などを教えてください。 道の駅みなみかたでは、年間を通して新鮮な野菜を中心に、丹精込めて手作りの加工食品などを販売しています。

す。野菜の中でも、特に人気があるのがニラ。南方町のニラは「もっこりニラ」の愛称で知られ、肉厚でやわらかく、甘みがあるのが特徴です。 また、今の時期は干し柿が人気です。最近では軒先で干し柿を作る風景が少なくなってきましたが、もっちりした食感で甘みが口の中いっぱい広がります。餅も根強い人気があります。予約があれば、祝い餅や供養餅も作ります。 レストラン野の花では、10月からポイント券を発行しています。お食事千円ごとに1



ランチバイキングは1100円でたくさんの総菜が楽しめる。連日盛況。

ポイントとなり、10ポイントたまるとお食事が1回無料になります。地元食材を使ったランチバイキングをぜひご賞味ください。 【問い合わせ】道の駅みなみかた「もっこりの里」 0220(58)3111

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集! ●2月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、1月6日(月)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳 飽食はメタボドミノの餌となり 俳句 山茶花や紅鮮やかに今朝の庭 蟬の仁王立ちして見構へり 枯れ蓮と遊び遊びて大き絵に 杖引いて背にいっぱいりのりんご狩り 山粧ふ峠を越えて伊達番所

佐々木儀一 (石越) 千葉 愛子 (迫) 千葉 泰子 (迫) 及川 澄子 (東和) 菅原いよ子 (東和) 千葉 勝保 (東和)

蟬の誰が来ようと通せん坊 喧嘩して帰りは一人泡立草 兎や角に卒寿の坂を越しにけり 殉職の碑文薄れて露草 青空に浮雲一つ冬薔薇 通勤に稲穂色付き気があせり 秋晴や聖書のことばに尸史あり 栗駒山の雄姿くつきり冬に入る

五十嵐進太夫 (中田) 小野寺 基 (中田) 島山 忠一 (中田) 山内 雅子 (中田) 今野ひろ子 (豊里) 及川レイ子 (米山) 浅野のり子 (津山) 大友ふき江 (津山)

応募総数25作品